

幸せの歌



JA宗谷南

2020NEN
NEW YEAR GOU
~SEASON74~

年頭の挨拶



宗谷南農業協同組合
代表理事 組合長



新年あけましておめでとうございませう。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられ、心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から農協の各事業の推進に対しましては、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は年号が4月末で平成が終り、5月からは令和となりました。新たな時代の幕開けとなりました。昨年を振り返りますと、本州では、台風15号、19号と度重なる台風上陸により関東一円に多大な被害をもたらしました。幸い、北海道に於きましては、大きな台風、災害被害もなく、北海道農業は収穫の秋を迎えることが出来ました。日米交渉をめぐる動向については、9月26日に、米国ニューヨークにて開催された日米首脳会談にて、日米共同声明に署名し日米貿易交渉は最終合意し、令和2年1月1日発効することにより、農畜産物への影響は、米国内産と競合しやすい乳製品や牛肉などの品目で道内農業への影響が懸念されます。特に牛肉は米国内産と肉質や価格が

近い乳用牛が多く、道内の多くの酪農家は、ホル雄の子牛を肉用牛としていることで、今後ホル雄価格の下落が予想されます。

この様な事を踏まえ、政府自民党は、2020年度畜産・酪農対策を昨年12月に決定し、焦点の加工原料乳生産者補給金は、1キロ当たり8円31銭で19年度と同額の据え置きとなり、集送乳調整金は5銭増え、2円54銭となり合計10円85銭で決着致しました。又、交付対象数量は19年度に比べ5万トン増の345万トンとなりました。

宗谷南農協の元年度の出荷乳量は(クミカン年度)57,834トン前年対比103.5%となりました。これも日々の組合員皆様のご努力の結果が生乳増産につながったことや、(株)アグリサポート枝幸の生乳生産部門のファームAYNIが稼働したことが大きな要因となっております。しかしながら昨年は、3戸の組合員が離農され今後の生乳生産増産にも不安を残すところでございます。

組合員の営農収支内容につきましては、個体販売価格は、特に初妊牛や初生犢が後半価

格が下落している状況にあり、一昨年の様な個体販売所得が得られなかった組合員につきましては、クミカン整理に初妊牛や育成牛の販売を行った組合員も見られ、組合員全体としては、一昨年より厳しい精算となる見通しであります。又、新年度の営農計画樹立におかれましては、一部の組合員におかれましては厳しい内容となっております。今後個体価格の高騰にも、やや陰りを見せておりますので、今後の個体価格に注視しつつ、組合員の所得向上には、生乳生産が基本でありますので日頃の乳牛の健康管理を含めた飼養管理を徹底することや、牛舎増設、倉庫、育成舎等の施設投資も将来の安定経営につながることを念頭おいて、生乳生産増産に取り組んで頂きたいと思っております。



公共育成牧場につきましましては、昨年も一昨年同様受入頭数が急増し飽和状態となり、組合員の初生牛受け入れを制限している所でございますが、令和2年には道営草地整備型公共牧場整備事業により事業費4億円を投資して、200頭牛舎1棟、哺育舎1棟、患畜舎1棟の整備を着工し、今後利用組合員の皆様の要望に応えられる様、進めているところでもあります。又、枝幸町公共育成牧場を建設した趣旨は、育成部門の労働力軽減と枝幸町酪農・肉用牛生産近代化計画を基にした、生乳生産の増産を目的とした施設でありますので組合員の皆様におきましては、趣旨をご理解の上ご利用頂きますようお願いを申し上げます。

ご指導をお願いするところであります。組合事業の年度末収支見込につきましては、12月の懇談会でも組合員皆様にお示し致しましたが、昨年並みの収支が見込まれる予定でございます。しかしながら、信用事業の主要な収益でもありません。奨励金につきましては、近年の金利政策等の運用環境の悪化等により、今年度から段階的に奨励金が減少することが決定されております。今後の農協運営につきましては非常に厳しい状況を迎える事が予想されます。

懸念されておりますAコープ、メカニックスサービスですが、平成21年に合併以降厳しい採算状況となっており、要因には、Aコープにつきましては、地域の人口減少による購買力の減少や枝幸町一円にトドック等の宅配業者が業務を行なっている事、又、メカニックスサービスに於きましては、トラクターの車検免除や現在のハイブリット車に対応できる機器の更新が厳しく、又、農機具は最新の機械が導入

され故障も少ない状況にあること等が考えられます。つきましては、今後も理事会等で充分協議を行いながら業務改善を目指してまいりますので、組合員皆様には、ご理解・ご協力を賜りたく宜しくお願い致します。最後に成りますが、組合員並びにご家族様、関係各位の皆様にとつて事故のない健康で豊穡の1年でありませう衷心よりご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



宗谷南農業協同組合

代表理事組合長	向井地 信之
理事・総務委員長	下山 勲
理事・業務委員長	小野寺 俊一
理事・生活店舗整備工場運営特別委員長	小林 政夫
理事・総務副委員長	木村 浩
理事・業務副委員長	吉田 明彦
理事・生活店舗整備工場運営特別委員長	山崎 幸夫
理事兼参事	寺前 孝義
理事兼金融共済部長	清野 盛
代表 監事	平田 勝一郎
監事	米内 潤二
監事	福井 金吾
他 職員一同	



新年の挨拶

JA宗谷南青年部
部長 大塚 悟



新年あけましておめでとございます。年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。旧年中は部員並びに組合員様ご家族様、また宗谷南農協始め各関係機関の皆様方には、日頃の青年部活動に對しまして、ご理解、ご協力を賜り誠に有難うございました。

昨年を振り返りますと、年号が平成から令和へ変わり新たな時代の幕上げとなるまさに節目の年となりました。また、国内においては、九州3県を襲った九州北部豪雨、関東を襲った台風15号、19号、21号と自然災害が猛威を振るった1年でした。

昨年の牧草収穫作業では干ばつの影響から1番草の収量が少なく2番草の収穫時期には長雨と天候不順に悩まされました。

また、国内の酪農情勢では、乳価は昨年引き続き高水準を保っております。しかし、個体価格につきましては価格が下降していることから、生乳生産に力を入れていかなくはと感じております。

青年部の昨年の活動は、6月に北海道酪農の素晴らしさを伝えることを目的とし

たフラッグシップショップ「MILKLAND HOKKAIDO TOKYO」の消費者交流イベントに参加致しました。消費者との交流を深め、北海道酪農の魅力伝え、消費拡大に貢献いたしました。

12月の全道大会では、「純農BOY」オーディションに参加し、農業への思いや魅力アピールすべくパフォーマンスをしました。惜しくも優勝はできませんでしたが会場は大いに盛り上がりました。

他には、よくばりフェスタ、流水フェスタ、サマーフェスタ等消費者との交流も「みるきいちゃん」のおかげで大変盛り上がり、今後も町のイベントに積極的に参加し、牛乳の無料配布等による牛乳消費拡大活動を続けていきたいと思っております。

また、食育活動においては、2月に枝幸幼稚園にて紙芝居の読み聞かせを行いました。子どもたちは熱心に耳を傾けてくれました。またみるきいちゃんも登場し子どもたちは喜んでいました。

今後も子どもたちに牛乳のことをもっと知って頂き、好きになってもらうための活動を続けていきたいと思っております。

最後になります。旧年中はご迷惑や至らない点が多々ございましたが、本年は青年部の更なる発展を目指し、部員一同邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



宗谷南農協青年部

部長	大塚 悟
副部長	山崎 知紀
副部長	井上 英之
理事	坂東 慎太郎
理事	山崎 紀幸
監事	高橋 慶大
監事	真壁 哲也



新年の挨拶

J A 宗谷南女性部
部長 戸澤 宏美



令和最初の新年を迎え一言お祝い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。今年、雪が少なく穏やかな新年を迎えられたことと思います。

昨年は、比較的天候が安定して牧草収穫を終えられたのではないのでしょうか。しかし、全国各地では台風や爆弾低気圧による暴風雨などで甚大な被害をもたらしました。犠牲となられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

私たちの地域でも異常気象で災害が起こる可能性がありますので、災害への心構え、備えが必要になるかと思えます。今年度からJA全国女性組織協議会では、3ヶ年計画「JA女性 地域で輝け50万パワー」となっています。

国連が定めた持続可能な社会を築く目標として、SDGs(エスディーゼイズ)を

掲げておりますが、この内容は私たちが取り組んできた活動内容と関連していることが多くあり、特に安全安心な食を守り、食料自給率の向上に向けた活動などは、持続可能な社会を築くことにつながっています。

女性部の昨年の活動は、10月に生活工夫展を行い、11月には、JA北海道女性大会が行われ部員4名が出席しました。家の光記事活用体験発表では、6名の活気ある活動発表を聞いてきました。全体懇親会では宗谷管内の皆様とアトラクションで南中ソーランを踊ってきましたが、思うように動けなくて苦労した事がありました。思いだされます。

今年初めての試みとして道外視察研修を企画しており、有意義な研修になればと思います。今後多くの方々のご協力を賜るかと思えますが、お力添えの程宜しくお願ひ致します。

最後になりますが、本年も農協を始め関係機関の皆様には、当女性部に対しまして、より一層のご指導、ご協力を頂きますこと、部員の皆様、組合員の皆様には、お体を大切にお過ごしくださることをご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



宗谷南農協女性部

- | | |
|-----|---------|
| 部長 | 戸澤 宏美 |
| 副部長 | 石川 春子 |
| 副部長 | 菊池 静子 |
| 理事 | 小野寺 千代子 |
| 理事 | 松井 幸子 |
| 理事 | 澤田 瑠衣 |
| 監事 | 山崎 美和子 |
| 監事 | 大塚 真央 |





他 職員一同

監	代	理	理	理	理	理	副	組
	表						組	合
	監						合	長
事	事	事	事	事	事	事	長	長
安	松	澤	井	高	玉	中	山	小
井	井	田	上	橋	村	野	崎	林
一	康	和	賢	博	勇		知	政
晃	有	人	一	則	司	隆	紀	夫

宗谷南
酪農利用ヘルパー組合



監	代	理	理	理	理	副	組
	表					組	合
	監					合	長
事	事	事	事	事	事	長	長
今	榊	松	井	関	高	藤	今
	原	田	上	口	橋	山	
賢			英	真	慶	祐	尚
二	孟	司	之	也	大	介	春

宗谷南乳牛検定組合



	監	監	副	副	会
			会	会	
			長	長	長
	事	事			
	政	桜	山	真	向
	木	庭	岸	壁	井
	大	明	也	哲	地
	治	彦	須	也	信
			彦		之

宗谷南
乳質改善協議会

謹 賀 新 年

昨年中は組合員皆様のひとかならぬご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。今年も自己研鑽を重ねて知識と技術の向上を図り、コントラ部門、育成牧場部門共に、組合員皆様の一助となるように、また昨年より稼働しました搾乳部門では、第一次産業の衰退を防ぐ為、乳量の確保や将来枝幸町へ就農する担い手の受入先としての役割を果たしてまいります。

何とぞ、昨年と変わらぬご利用・ご活用を賜りますようお願い申し上げます。

皆様におかれましても、健康で稔り多い年であります様ご祈念申し上げます。

